

証券コード:6839

船井電機株式会社

〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
http://www.funai.jp/



当期の概況

北米での受注減などが影響し、
売上・利益ともに目標を下回りました。

次期の展望

積極的に受注を拡大し、
早期の黒字転換を目指します。

技術情報

「本物の黒」を再現する
液晶テレビのバックライト制御技術

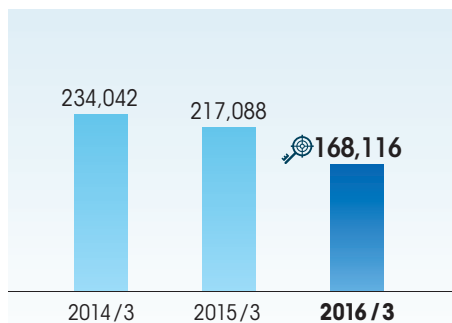
トピックス

大阪大学大学院と連携し
先端医療の発展に貢献する

財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

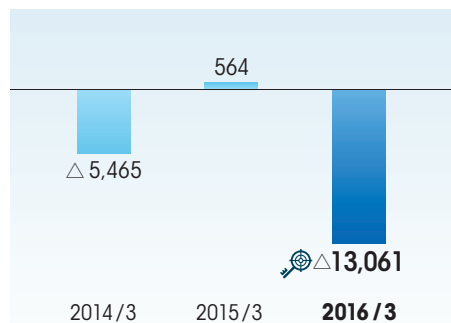
売上高 (百万円)



KEYPOINT

DVD関連機器は増収だったものの、北米での受注抑制などが影響し、前期比22.6%の減収となりました。

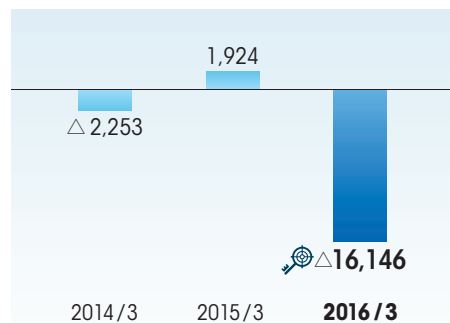
営業利益 (損失) (百万円)



KEYPOINT

オーディオアクセサリ撤退により発生した販売損などを計上し、営業損失は13,061百万円となりました。

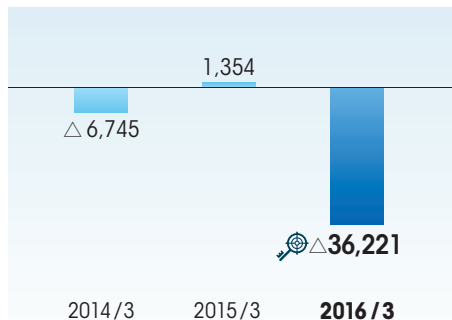
経常利益 (損失) (百万円)



KEYPOINT

フィリップスとの仲裁裁判で発生した損害賠償金185億円などを計上した結果、経常損失は16,146百万円となりました。

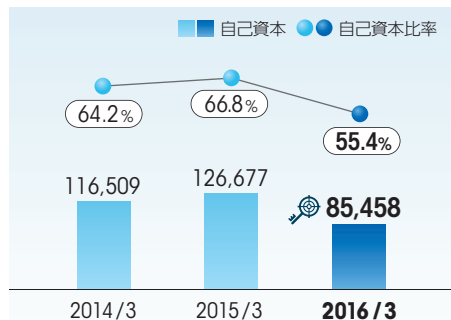
当期純利益 (損失) (百万円)



KEYPOINT

メキシコペソの為替差損など32億円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は36,221百万円となりました。

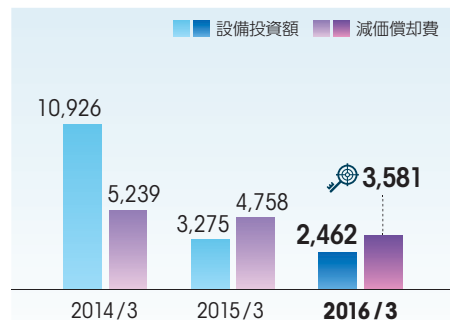
自己資本・自己資本比率 (百万円)



KEYPOINT

損害賠償金などの発生により自己資本は前期比で減少しており、自己資本比率は55.4%となっています。

設備投資額・減価償却費 (百万円)



KEYPOINT

工場関連で償却が進んだため、減価償却費は減少しています。

新社長から、就任のご挨拶 ならびに今後の経営戦略について ご説明いたします

代表取締役 社長 前田 哲宏



この度、船井電機の代表取締役 社長に就任いたしました、前田 哲宏です。

当社の業績につきましては、前期(2015年3月期)には5期ぶりの最終黒字に転換したものの、当期(2016年3月期)は362億円の赤字という結果でした。この結果を踏まえて人心を一新するための社長就任となりました。

これから次の世代を見据えた体制を整備し、業績改善とさらなる発展を目指すために、数多くの課題を解決し、困難を乗り越える必要があると考えています。この機を当社の新たな船出として、全社で意識改革を行って業務に取り組み、株主の皆様のご期待にこたえるべく精進したいと存じます。

Q 当期(2016年3月期)の業績は?

A 北米での受注減や為替などの影響で 目標を下回る結果となりました

当期の売上高は168,116百万円(前期比22.6%減)、営業損失は13,061百万円(前期は564百万円の営業利益)、経常損失は16,146百万円(前期は1,924百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する当期純損失は36,221百万円(前期は1,354百万円の親会社株主に帰属する当期純利益)となりました。

大幅な減益の原因となったのは、北米の特に年末商戦における受注を減らしたことで、地域量販店での販売不振が大きく影響したのに加え、オーディオアクセサリーの販売終息に向けての費用計上、メキシコペンや米ドルに対する円高による為替差損、さらにはフィリップス仲裁金支払いなどの特殊要因でした。仲裁金支払いなどにより、自己資本比率も低下したとはいえ、55.4%(前期比11.4ポイント減)を保持しており、財務の健全性は維持されています。

Q 次期(2017年3月期)の取り組みは?

A 大型の4Kテレビを中心に積極展開し、 着実な販売・収益増加を目指します

北米での販売戦略は、年間を通じた店頭販売を重視しつつ、さらに再度年末商戦の積極受注で拡販を図ります。為替差損についても、為替予約で変動リスクの回避を図っています。またメキシコに

新工場を開設し、メキシコ国内および北米向けの大型テレビを9月から生産開始する予定です。50インチ以上や4Kモデルはフィリップスブランド、それ以下の小型モデルはSANYOブランドと明確に棲み分け、両ブランドで北米での販売量を増やしていきます。

プリンター事業は、2018年3月期での黒字化を目指し、ラインナップの拡充、業務用モデルの生産を計画しています。

Q 配当は?

A 連結純資産配当率1.0%を基本に、 期末配当を実施します

株主に対する利益還元を重要な経営課題の一つとして認識し、経営基盤の強化を図りながら安定配当を維持することを基本方針としています。具体的な基準として、連結純資産配当率1.0%を基本に、経営環境などを考慮した安定的な配当政策を実施しています。なお、配当金の支払いは年1回、期末に実施しています。

上記の方針を踏まえ、当期の期末配当金につきましては1株当たり30円とさせていただきます。次期の配当については未定です。

株主の皆様には、当社グループの事業にご理解を賜り、今後とも変わらぬご支援をいただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。



「本物の黒」を再現する 液晶テレビのバックライト制御技術

光をより忠実に再現する 「High Dynamic Range (HDR)」が登場

人の目や映像機器が認識・記録・再現できる明るさの範囲を「ダイナミックレンジ」といいます。従来テレビ機器で再生される映像のダイナミックレンジは、高性能なカメラで撮影していても、映像が再現できる光の明暗の範囲はごく限られていました。

近年、この明暗のダイナミックレンジを広く表現できる技術「High Dynamic Range (HDR)」が登場。現在は規格化と並行してブルーレイディスクやネット配信映像といったコンテンツ単位で導入されつつありますが、いずれは一般のテレビ放送にも取り入れられると考えられます。そのため、受信した映像を再生するテレビ機器でも、HDR対応モデルが主流になっていくと予想されるのです。

一部のライトを完全消灯し漆黒を表現できる 制御技術をHDR対応モデルに採用

これまでのテレビでは完全な黒を表現できず、HDR映像が持つ美しいコントラストを完全に再現できませんでした。

これを解消するため、画面全体に敷き詰めたバックライト一つひとつの明るさを個別に制御することで、より忠実に明暗差を再現できるシステムが開発されました。当社も、独自にこの複雑な制御回路を構築・実装した新モデルを開発し、製品化に取り組んでいます。

2016年1月、ラスベガスの展示会で披露した新モデルは来場者にも非常に好評でした。今後、北米地域を中心に2016年7月ごろの発売を予定しています。

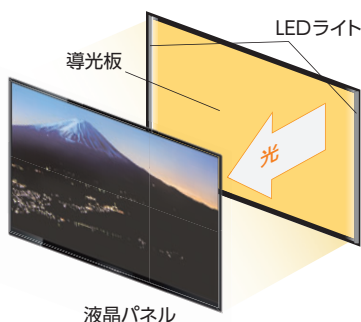


国際的な家電機器展示会
CES2016 (ラスベガス)に出展

「本物の黒」を生み出す仕組み

〈従来の制御技術：一括制御バックライト〉

テレビの側面(エッジ)に配置したバックライトは単独の回路で制御され、導光板で全体に拡散される。しかし、明暗の制御は画面全体でしかできず、暗い部分にも光が入るので、完全な黒を表現できない。



〈漆黒を表現できる制御技術：部分制御バックライト〉

全体に敷き詰めたバックライト一つひとつを調節・消灯し明暗を調節。複数の回路を制御する複雑な構造になるが、暗い部分を消灯できるので黒を忠実に再現。最大のコントラスト比を表現できる。



※ LED配置画像はイメージです。

トピックス

TOPICS

大阪大学大学院と連携し 先端医療の発展に貢献する

関西圏(大阪府・兵庫県・京都府)は健康・医療分野における国家戦略特区に指定されており、大阪大学医学部附属病院を臨床研究の中心として、再生医療技術などの最先端医療研究を積極的に推進しています。

組織・分野を超えたイノベーションを実現するため、当社は2016年4月12日に同大学と「研究・事業化連携の推進に関する協定書」を締結しました。当社の持つメカトロ制御技術などの応用が期待されています。



協定書締結にあたり開催された記者会見
(左端: 牧浦取締役)

会社情報

Corporate Profile

会社概要 (2016年3月31日現在)

社名	船井電機株式会社
本社	〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号
設立	1961(昭和36)年8月
資本金	31,307百万円(2016年3月末現在)
従業員数	3,318名(2016年3月末現在)
連結子会社	DXアンテナ(株) / 船井サービス(株) / (株)エフ、ジー、エス / 中国船井電機(株) / FUNAI CORPORATION, INC. / P&F USA, INC. / FUNAI SERVICE CORPORATION / Funai LexingtonTechnology Corporation / P&F MEXICANA, S.A. DE C.V. / FUNAI ELECTRIC (H.K.), LTD. / H.F.T. INDUSTRIAL LTD. / Zhong Shan Funai Electron Co. / Funai Electric R&D (Shenzhen) Co.,Ltd. / FUNAI ELECTRIC CEBU, INC. / FUNAI ELECTRIC PHILIPPINES INC. / FUNAI (THAILAND) INC., LTD. / Funai Malaysia R and D SDN. BHD. / Funai India Private Limited / FUNAI ELECTRIC EUROPE Sp. z o.o.

役員 (2016年6月28日現在)

取締役		取締役(監査等委員)	
代表取締役 執行役員社長	前田 哲宏	取締役	石崎 弘
取締役 相談役	船井 哲良	社外取締役	盛本 正英
取締役 執行役員	岡田 譲二	社外取締役	坂内 義明
取締役 執行役員	船越 秀明		
取締役 執行役員	牧浦 弘幸	執行役員	
取締役 執行役員	伊藤 武司	執行役員	足立 元美
社外取締役	米本 光男	執行役員	吉田 庸樹

株式情報

Stock Information

大株主 (2016年3月31日現在)

名称または氏名	所有株式数 (千株)	持ち株比率 (%)
船井 哲良	12,559	34.76
船井電機(自己株式)	2,011	5.56
公益財団法人船井情報科学振興財団	1,540	4.26
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,332	3.68
船井 哲雄	1,079	2.98
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	961	2.66
ザ バンクオブニューヨーク 133522	896	2.48
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	637	1.76
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	628	1.73
STATE STREET CLIENT OMNIBUS ACCOUNT 0M44	626	1.73

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催いたします。
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 ※ なお中間配当を行う場合は、基準日は9月30日 (その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 http://www.funai.jp/jp/investors/koukoku.html ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
株主名簿管理人/ 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先/ 各種お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 0120-094-777(通話料無料) [受付時間9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)] ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/

株価の推移(終値/円) (2014年4月~2016年3月)

